

平塚らいてう 孫が語る素顔



らいてうと奥村氏（4歳）

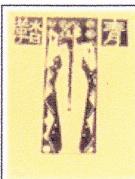
原始女性は太陽であった。

真正の人であった…

雑誌『青鞆』が創刊されて100年。さまざまな女性たちがその活動、表現に力をもらいながら、人間としての尊厳、自由を求めて活動してきました。

『青鞆』創刊の辞を書いたのは、女性運動の先駆け、平塚らいてう。誰もが知る、一貫した雄々しい肖像とは裏腹に、彼女には家族にしか見せないもう一つの顔がありました。自身の抱える脆さに苦悩し、生き、闘つた人間味あふれる実物大のらいてう…。らいてうは、過ぎ去った過去の人ではなく、今もたくさんの人々の中に生きています。

今、私たちがなにをすべきかを、らいてうの生き方を通じて一緒に考えましょう。



『青鞆』（せいとう）は、女性だけの文芸誌として1911年（明治11年）9月、創刊。1916年までに52冊発行された。創刊号の表紙は長沼智恵子（後の高村智恵子）による。

申込要項

- 日 時 平成24年3月24日（土）13:30～15:30
- 場 所 アイセル21 3階 31集会室
- 定 員 80人（申込順）
- 講 師 奥村直史さん
- 資 料 代 500円
- 問合せ先 尾崎（TEL&FAX 054-278-6873）
大塚（TEL 054-270-8062、FAX 054-253-6464）

【主催】静岡女性史研究会 【後援】静岡市 静岡新聞社・静岡放送

【協賛】NPO法人男女共同参画フォーラムしづおか 藤枝女性史研究会（社）大学女性協会 桜楓会静岡支部 新日本婦人の会静岡支部